

エポック 10 公式 Twitter の活用について

1. エポック 10 Twitter アカウントの概要(11 月 30 日現在)

- (1)開設日 2017年4月
- (2)フォロワー数 508
- (3)ツイート総数 335

※(参考)豊島区公式アカウント

- (1)開設日 2012年11月
- (2)フォロワー数 1.1万
- (3)ツイート総数 1,560

2. 運用状況

<エポック 10 公式アカウントからの投稿>

	投稿数	主な投稿内容	いいね数 (平均)	リツイート数 (平均)
R4.5月	1	共催事業告知「パパとママの離婚講座」	2	0
6月	1	共催事業告知「女性再就職準備セミナー」	2	1
7月	1	共催事業告知「WaffleCamp ホームタウン」	2	1
8月	1	運営委員会 委員募集	4	2
10月	1	「国際ガールズ・デー」周知	3	1
11月	5	「ファーマーズマーケット」ブース出展 PR	3.2	0.4

<豊島区公式アカウントからの投稿>

	投稿数	主な投稿内容	いいね数	リツイート数
R4.5月	1	事業告知「エポック 10 フェスタ 2022」	39	21
7月	1	共催事業告知「WaffleCamp ホームタウン」	18	17
8月	1	運営委員会 委員募集	9	3
9月	1	事業告知「アンコンシャスバイアス基礎講座」	11	5

3. 委員からの意見・アイデア

・更新頻度について

月1-2回更新にしてはフォロワー数はかなり健闘していると思う。

更新に時間が割けない場合は、月に1-2回時間を取って、向こう30日の投稿を事前予約する、といった機能もある。

・利用者への個別対応について

豊島区は「DM、リプライ対応不可」とあるが、実際に悩んでいる方がDMしてくる場合もある。

一方的な発信だと親しみがわかないかもしれないので、できれば削除する方が良いかと思う。

※DM（ダイレクトメッセージ）…メールのように特定の利用者と非公開でメッセージを送受信できる機能。

※リプライ…特定の投稿に対してTwitter上で返信する機能。（設定により非公開にすることも可）

・他自治体の男女共同参画センターの運用を参考にしてみてもどうか。

・エポック10の認知度拡大を目的にSNSを活用するのであれば、むやみにTweetするのではなく、各分野でのセグメントに特化したコンテンツ発信を行い、届けたいセグメントにリーチする戦略を行うと良いかと思う。

・今後のイベント実施時にインフルエンサー効果が期待できる人物をアサインすると相乗効果を生む可能性が広がると感じた。